

近年、薬物犯罪の報道が相次いで発生しており、その乱用が社会問題となっています。違法薬物の使用、所持は法律違反であるばかりでなく、身体、精神に重大な後遺症を残すおそれがあります。正確な知識をもち、違法な薬物には手をださないことが最も大切なことです。

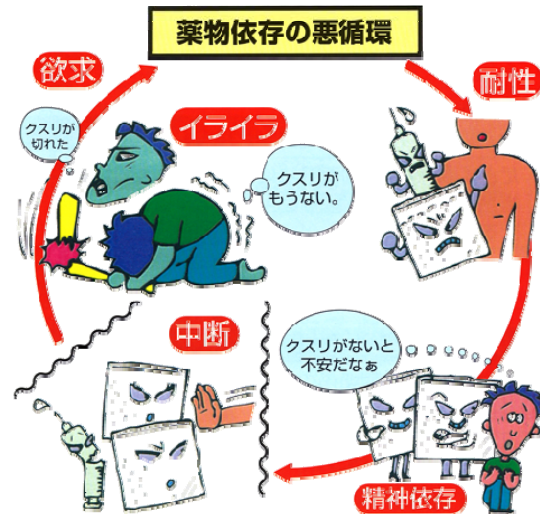
●薬物乱用とは？

薬物乱用とは、社会のルールからはずれた方法や目的で、薬物を使うことです。1回使用しただけでも乱用にあたります。

薬物乱用の恐ろしさは、「依存性」と「耐性」です。

依存性:薬物を、繰り返し使わずにはいられなくなり、薬物をやめたくても自分の意志では止められなくなってしまう。

耐性:使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効かなくなり、薬物の使用量が増える。



1回だけと思って始めた人も、薬物の“依存性”と“耐性”によって使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環に陥ります。もはやそうになると自分の意志だけでは止めることはできません。

●乱用される薬物

乱用される薬物は、私たちの一番大切な脳(中枢神経)を破壊します。乱用される薬物の作用は、脳への影響によって次のように分けられます。

<p>興奮作用</p> <p>覚せい剤、コカイン</p>	<p>幻覚作用</p> <p>MDMA、LSD</p>	<p>抑制作用</p> <p>あへん系麻薬(ヘロインなど) 大麻(マリファナ) 有機溶剤(シンナーなど) 向精神薬^注</p>
-------------------------------------	------------------------------------	--

注)医師の診断のもと、適正に使用されているものを除く。

危険ドラッグ

合法ハーブ アロマオイル

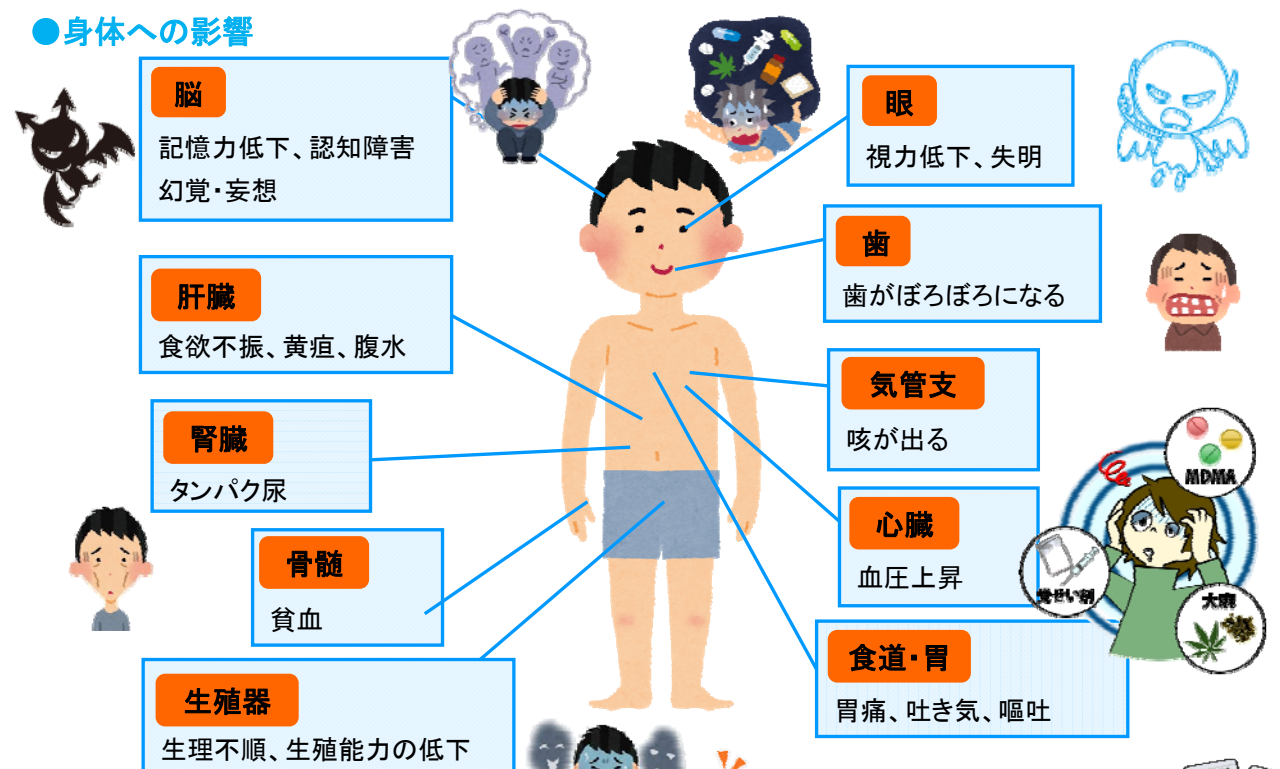
バスソルト

危険ドラッグとは、覚醒剤・大麻に化学構造を似せて作られた物質などが添加されたもので、どんな影響が身体に出るのかわからず、乱用による健康被害が発生しており、死に至る可能性があります。

合法=安全 ~~合法=捕まらない~~

合法と偽って販売されていることがあるので注意してください！！

●身体への影響



●薬物乱用が社会にもたらす影響

- 薬物の乱用により、幻覚、妄想が現れ、傷害事件や交通事故につながる。
- 薬物を入手するための金欲しさに無理な借金や売春、恐喝事件、窃盗事件を起こすことも少なくない。
- 薬物におぼれ、何よりも薬物を優先するようになると、友達や家族を騙したり、暴言や暴力で傷つけてしまうこともある。

医療用麻薬の誤解について

痛みのコントロールでは、しばしば「医療用麻薬」が使われます。麻薬中毒のイメージから、医療用麻薬を敬遠され、痛みを我慢して過ごしている方も少なくありません。**医療用麻薬は、痛みがある状態で使用すると、中毒にならないことが分かっています。**痛みで困っている場合は、我慢せずに医師に相談しましょう。

●薬物乱用を防止するために

- ◆ 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。
- ◆ 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと。
- ◆ 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること。

あやしいヤクブツ連絡ネット

指定薬物を含む危険ドラッグ等に関連する健康被害事例等の収集、分析、評価を行い、公表、注意喚起を行っています。また、コールセンターで相談対応を行い、一元的に危険性等の情報にアクセスできます。

薬物の乱用でお困りのことがあれば <https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp>

コールセンター 03-5542-1865